科目名 Subject	日本語総合Ｂ General JapaneseB		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	専門科目や実技の授業を受けたり学校の行事に参加したり、時には学校の行事の中心となって参画したりする以外に学生間の情報交換のためのコミュニケーション手段となる日本語能力である聞く力、話す力、読む力・書く力といった４つの技能を日本語総合A・C.Dの授業と関連して同じ教科書を使用し、精読・文法表現・関連表現とスキル・応用話す・書くをといった技能を総合的に学習する。				
授業の目標	日本語学校などでの日本語予備教育で得た知識やスキルをさらに発展させ、日本人のクラスに入っても積極的に参画できる日本語力を習得する。特にこの日本語総合Ｂでは表現力を身に付けることに力点をおき、豊かな表現ができる。				
時間外学習 （予習・復習）	授業の前には90分から120分はかけて語彙の意味、表現の使い方などを予習して、授業中に意味調べなどはせず、講義に集中できるようにしておくこと。授業後も同等の時間をかけて理解を定着させるために復習をすること。特に、日本語能力試験Ｎ２、Ｎ１を受験しようと考えている学生は、この範囲が試験によく出る問題であることを念頭に入れて勉強すること				
教科書・教材	教科書	学ぼう日本語　専門教育出版			
	教材	聴解教材CD　PC			
	使用設備・備品				
	参考文献				
評価方法	平常の積極的な授業参画を高く評価する。特に提出物については未提出にならないようにすること。平常点として40%　期末試験で60%として総合評価する。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	授業中はスマホなどの使用は禁止する。場合によっては預かることもある。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	第一課　メールや電話で依頼ができる「重要な文型と表現」	依頼の文法事項の理解と文作でより深い修得、実際にメール文で情報のやり取りすることができる	第一回ではオリエンテーションをする。予習と復習には90分以上かけ準備とまとめをすること
第２回	第二課　理由と許可を求める「重要な文型と表現」	理由を明確して丁寧なお願いの表現と普通態のお願いの違いがわかり、的確に使用することができる	第一回でオリエンテーションをする。特に予習90分、復習にも同等の90分以上かけること。
第３回	第三課　お礼や感謝の気持ちが言える「重要な文型と表現」	丁寧なお礼や感謝の気持ちの伝達と普通態の礼や感謝の表現することができる	予習　第二課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第４回	第四課　理由を言って上手に断る「重要な文型と表現」	どうしてかと明確にしながら丁寧に表現できたり、友人同士の軽い断ることができる	予習　第三課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第５回	第五課　情報の整理とその説明「重要な文型と表現」	比較、条件な文などを使って情報の整理とその説明することができる	予習　第四課課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第６回	第六課　今の状況、状態を説明する「重要な文型と表現」	状況や状態の説明を相手を目上、自分より下にうまく伝えることができる	予習　第五課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第７回	第七課　聞きたい情報を正しく伝えられる「重要な文型と表現」	伝聞が命令か依頼か第三者への伝言かなど区別して正確に伝えることができる	予習　第六課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第８回	第八課　内容や事情を説明し勧めたり誘ったりする「重要な文型と表現」	意図していることを明確にし誘うことができる	予習　第七課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第９回	第九課　自然は会話を進められるようにする「重要な文型と表現」	「どんな人で何をしている人」かを第三者に伝えることができる	予習　第八課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１０回	第十課　人物の描写、説明が4できる「重要な文型と表現」	必要な情報、不要な情報の区別とそれを正確に理解することができる	予習　第九課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１１回	第十一課　必要な情報の的確な理解「重要な文型と表現」	自分の立場を決定し考え、意見や助言することができる	予習　第十課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１２回	第十二課　自分の立場から意見を言う「重要な文型と表現」	相手の立場、問題の理解と整理ができ、その上に立ってアドバスすることができる	予習　第十一課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１３回	第十三課　物事の価値をその価値の説明「重要な文型と表現」	時や状況の変化の理解とその理由を整理でき、相手に伝えることができる	予習　第十二課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１４回	第十四課　問題に対するアドバイス「重要な文型と表現」	大元の評価、基準の理解とどんな立場にたった判断かが理解できる	予習　第十三課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１５回	15回の総まとめと試験対策	前期の総まとめと総復習	予習　第十四課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること